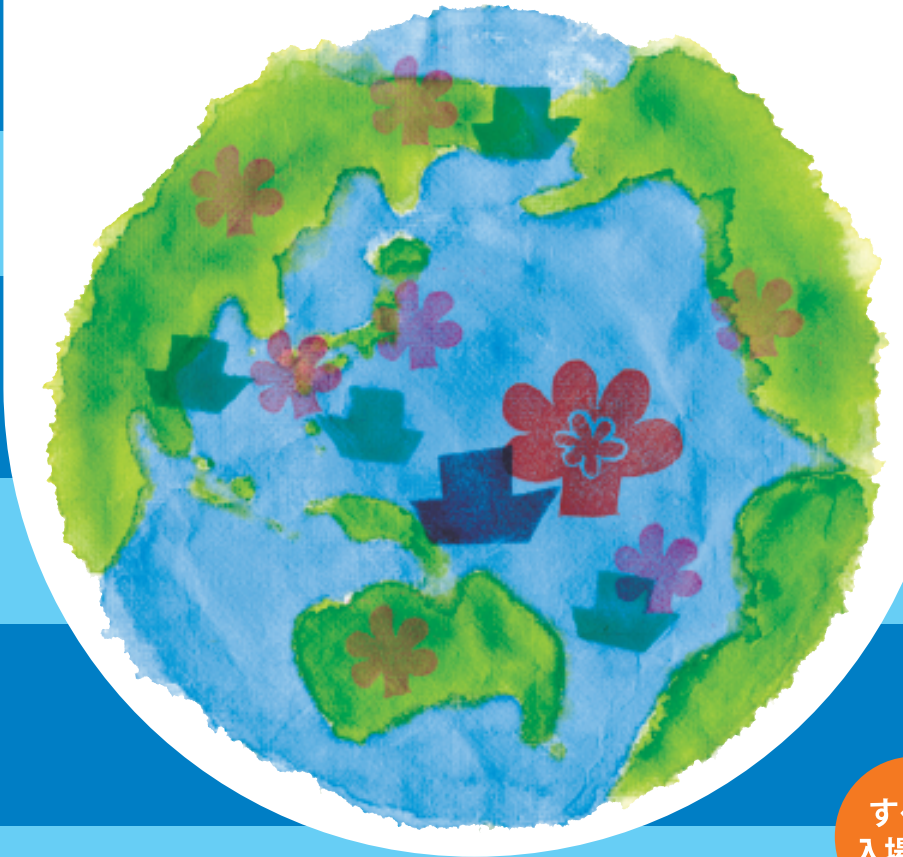


焼津流 平和の作り手

市民のビキニデー・vol.7

2015

会場：焼津漁業協同組合魚市場会館 2F・元食堂
(旧港前 ツナコープ 2F・焼津市中港 2丁目 6-13)



すべて
入場無料

3.1(日)～3.15(日)

～ 焼津から平和の船を漕ぎ出そう! ～

平和は人間の利益になります。
一人一人のとくになります。
戦争は人々の財産を失い、
一般の市民が犠牲になります。
悲しみと怒りが人の心に、
普通の社会に充満するだけです。
日本が21世紀のひのき舞台に出て
世界の歴史に燦然と輝くことを
信じています。
その出発点が
ふるさと焼津です。

(第五福竜丸元漁労長・見崎吉男さんの手記より)

出演者紹介

内田ボブ(うちだ ボブ)

シンガーソングライター。1952年生まれ。長野県大鹿村在住。15歳から旅を始め世界を回り歌う。ここ数年は上関原発計画、第五福竜丸、ビキニ環礁、環太平洋での被曝の問題に関わり「核のない未来」を歌い語る旅を続行中。http://amanakuni.net/bob/top.html

田中徳雲(たなか とくうん)

1975年福島県いわき市小名浜生まれ。高校在学中、吉川英治氏の著作「宮本武蔵」の中の禅僧沢庵和尚に強く惹かれ僧侶の道歩む。1997年から福井の永平寺で約5年間修行。2001年より南相馬市小高区同慶寺副住職を務め、2008年より住職となる。

杉村征郎(すぎむら いくお)

ビキニ事件当時13歳、第五福竜丸を間近に見て過ごし、「原水爆反対」と記した署名活動を発起。東日本大震災・福島原発事故を契機に、体験を語る機会が増えた。被災地にも足を運び復興支援を進めている。

あら器量(あらきりょう) ギター

音楽を愛しギターを愛し友を愛し半世紀。音楽の活動の中で、ある日養護施設の少年と出会いました。人と違う事に悩みを持った少年は、差別と偏見の中で社会からはみ出していくようでした。私はそんな時偶然にクラシックギターを通じて少年を理解しようとし、少しづつ少年はみんなと共に生きる事への勇気が湧いてきたようでした。私のような何も出来ない人間でもたった一人でも誰かの手助けがあれば新たに希望と勇気が湧いてくるのだと知り、そこから音楽を通して今の活動を続ける事になりました。そして今、第五福竜丸の母港である焼津に住み、この事件を多くの人に知らせようとしています。

わこ ギター・語り

アメリカ西海岸を中心に「カラージュ」のメンバーとして演奏活動後帰国。コンサート講演活動に加え、詩、創作童話、作詞・作曲を手がけている。現在、誰もが楽しめる音楽講演活動を各地でカラージュとして展開中。
NPO法人「ギター音楽教育プロモーション」理事長 日本クラシックギター弾語り協会理事

問い合わせ「かまぼこ屋根の会」090-2344-7463 (moco)

詳しくは

焼津クンクン

検索

焼津が大好きな仲間たち「かまぼこ屋根の会」が送る焼津ニュース
http://kamavox.eshizuoka.jp/

主催/焼津港100年会議「かまぼこ屋根の会」・市民のビキニデー実行委員会 焼津市市民公益活動事業費補助金交付事業

2015 焼津流平和の作り手 第七回市民のビキニデー 実行委員長：加藤一夫 事務局：清水良一 イラスト・写真：moco デザイン：ubusuna

焼津港100年会議「かまぼこ屋根の会」・市民のビキニデー実行委員会